

次期岩手県環境基本計画 骨子（案）について

１ 骨子案の概要（現計画及び前回部会審議からの変更点）

	現計画	前回までの部会審議	骨子案（素案ベース）	備考
構成	第１章 基本的事項 第２章 基本目標 第３章 施策の方向 第４章 進行管理	－	はじめに 第１章 総論 第２章 横断的施策 第３章 分野別施策 第４章 進行管理	・ 県民計画にならない基本的事項を「はじめに」に包含 ・ 施策の柱を２分類
ページ数	本文 81（68）ページ （49,657 字）	－	本文 50 ページ程度 （48,000 字程度）	・ 委員御意見踏まえ、減量かつシンプルに
施策の柱	○ 7 つの施策の柱 ・ 低炭素社会 ・ 循環型社会 ・ 自然共生社会 ・ 安全安心の環境 ・ 快適な生活環境 ・ 人材育成と協働 ・ 環境関連産業	○ 4 つの横断的視点 ・ 環境と経済の循環 ・ 持続可能な県土づくり ・ 地域資源の活用 ・ 心豊かな暮らし ○ 6 つの施策の柱 ・ 気候変動対策 ・ 資源循環 ・ 生物多様性 ・ 生活環境 ・ 担い手づくり ・ 環境関連産業	○ 3 つの横断的施策 ・ 環境と地域経済の循環 ・ 持続可能な県土づくり ・ 心豊かな暮らし ○ 5 つの分野別施策 ・ 気候変動対策 ・ 資源循環 ・ 生物多様性 ・ 環境リスク管理 ・ 担い手づくり	・ 4 つの視点に具体的な施策を肉付け。 ・ 計画の目玉である「環境・経済・社会の統合的向上」を前面に出し、施策の柱に落とし込んだ。 ・ 従来の環境施策は 5 つの分野別施策に整理
基本目標等	○ 基本目標 みんなの力で次代へ引き継ぐいわての「ゆたかさ」	○ 長期的目標 温室効果ガス 2050 年実質ゼロ ○ 基本目標 「多様で優れた環境と共生する持続可能ないわて」	○ 環境施策の目指す将来像 「多様で優れた環境と共生する脱炭素で持続可能ないわて」	・ 脱炭素（実質ゼロ）を持続可能性と関連付け、計画全体の長期的目標（目指す将来像）に位置付け
指標	90 指標（うち 12 指標を柱ごとの目指す姿指標と設定）	－	総合的指標 15 程度 施策推進指標 30 程度	・ 基本計画の趣旨を踏まえ、代表性のある総合的指標と既存計画と整合する施策推進指標に整理 ・ 全体指標数を半減

２ スケジュール

日程		当初予定の審議事項	変更後
4/27	<u>計画部会（第 4 回審議）</u> ⇒延期	・ 施策の方向	・ 各委員へ文書で意見照会
6/22	<u>計画部会（第 5 4 回審議）</u>	・ 骨子案、指標	・ 骨子案、指標の考え方
7 月下旬	<u>計画部会（第 6 5 回審議）</u>	・ 素案	・ 素案、指標の具体的内容
8 月下旬	<u>計画部会（第 7 6 回審議）</u>	・ 答申案	・ 答申案
9 月中旬	環境審議会	・ 答申案	・ 答申案
10 月中旬	環境審議会	・ 答申	・ 答申